

Software Delivery Assistant Version 1.3



ユーザース・ガイド

Software Delivery Assistant Version 1.3



ユーザース・ガイド

原 典： Software Delivery Assistant Version 1.3
User's Guide

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2002.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次

第 1 章 Software Delivery Assistant の

インストールと開始 1

システム要件	1
Software Delivery Assistant のインストール	1
Software Delivery Assistant の開始	2
Software Delivery Assistant のアンインストール	2

第 2 章 Software Delivery Assistant の

使用 3

概要	3
情報の収集	3
ワークスペースの作成	4
SDA イメージ・テキストの変換	4
SDA イメージのプレビュー	4
SDA イメージのビルド	4
SDA イメージをユーザーのコンピューターにダウンロードする	4
SDA イメージの開始	5
ソフトウェアをユーザーのコンピューターにインストールする	5
始めに	5
ワークスペースを使いこなす	5
新規のワークスペースをつくる	6
ワークスペースの命名	6
言語の選択	6
グループの指定	6
ユーザー・プロファイル・フィールドの指定	6
既存のワークスペースを開く	6
既存の SDA イメージからワークスペースを取り込む	6
ツールバー・ボタン	7
メニュー・オプション	8
ファイル	8
編集	8
表示	10
挿入	10
アプリケーション挿入プロパティ	12
イメージ	18
「プレビュー」	18
「ビルド」	18
「レポート」	18
「イメージプロパティ」	20
「翻訳」	25

「送る」	25
「受け取る」	25
「ウィンドウ」	25
ユーザーのコンピューター上で SDA-インストーラーを開始する	25
RunOnce レジストリー・キーの中にエントリーを作成する	26
「スタートアップ」フォルダー内にショートカットを作成する	26
ユーザーが SDA-インストーラーを実行できるようにする	26
Windows NT を使用して SDA-インストーラーを実行する	26
作業	27
新規ワークスペースの作成	27
グループの指定	28
ユーザー・プロファイル・フィールドの指定	28
既存のワークスペースを開く	29
既存の SDA イメージからワークスペースを取り込む	29
言語をワークスペースに追加する	29
グループを言語に追加する	29
サブグループをグループに追加する	30
アプリケーションをグループまたはサブグループに追加する	30
ユーザー・プロファイル・フィールドを追加する	30
グループ選択を自動化する	31
32 ビットのプログラムを作成する	31
エントリーをレジストリー・キーに追加する	31
プレビュー SDA イメージを作成する	32
既存 SDA イメージから新規 SDA イメージを作成する	32
複数アプリケーションを更新する	32
SDA-インストーラーのオプション・インストール部分を使用不可にする	33
翻訳用のテキストの取り出し	34
翻訳済みテキストを組み込む	34

付録. 特記事項. 35

商標	36
--------------	----

索引 37

第 1 章 Software Delivery Assistant のインストールと開始

ここでは、Software Delivery Assistant (SDA) バージョン 1.3 のインストールおよび開始について説明します。

システム要件

SDA バージョン 1.3 には、以下の Microsoft® オペレーティング・システムのいずれかが必要です。

- Windows® 95
- Windows 98
- Windows NT® 4.0
- Windows 2000
- Windows Millennium Edition
- Windows XP

Software Delivery Assistant のインストール

以下の手順を実行して、Windows NT 4.0 または Windows 95、Windows 98、Windows 2000、Windows Millennium、Windows XP が稼動しているサーバー、コンソール、またはクライアントに Software Delivery Assistant を手動でインストールします。

1. プログラムをダウンロードするには、次の IBM Web ページに入り、SDA を検索します。

<http://www.ibm.com/jp/pc/migration.sda>

2. Windows スタート・メニューから、「ファイル名を指定して実行」を実行します。
3. 「名前」フィールドに、以下を入力します。

`drive_letter:¥directory¥sdav13.exe`

ここでの `drive_letter` および `directory` は、インストール・プログラムを配置するドライブおよびディレクトリーです。

4. 「InstallShield Wizard」のウィンドウで「Next」をクリックし、
5. 「設定言語の選択」ウィンドウで日本語を選び、「OK」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「製品ライセンス契約」のウィンドウでよく読んでから、「はい」をクリックします。
8. 「インストール先の選択」ウィンドウで、「次へ」をクリックします。

Software Delivery Assistant インストーラーによって、プログラム・ファイルがインストールされます。

9. インストールが完了すると、「セットアップの完了」ウィンドウが開きます。「完了」をクリックして、確認します。

Software Delivery Assistant の開始

以下のいずれかの方法で SDA を開始することができます。

- 「スタート」 → 「プログラム」 → 「**IBM Software Delivery Assistant v1.3**」をクリックします。
- 以下の場所にある SDAassist.exe ファイルをダブルクリックします。
C:¥Program Files¥SDAv13¥SDAssist.exe
最初に起動したのきのみ、言語の選択が表示されます。「Japanese」を選んで「OK」をクリック。

Software Delivery Assistant のアンインストール

ご使用のシステムから Software Delivery Assistant を除去するには、以下の手順を行います。

1. 「スタート」 → 「設定」 → 「コントロール パネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
3. 「インストールと削除」リストから **IBM Software Delivery Assistant V1.3** のプログラム名を選択します。
4. 「削除」をクリックします。
5. 「ファイル削除の確認」ウィンドウの「はい」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。

第 2 章 Software Delivery Assistant の使用

IBM® Software Delivery Assistant (SDA) は、会社の全組織にわたって使用できる単一のアプリケーション・セットを展開する際に役立ちます。SDA は、ユーザーのオペレーティング・システム、言語、ハードウェア構成またはビジネス・グループ (マーケティング、開発、金融など) に関係なく、すべてのユーザーに対して展開可能な、単一の共通アプリケーション・セットを作成することができます。

SDA を使用して、社内のビジネス・グループ (マーケティング、製造開発など) に基づいた個々のアプリケーション・セットを、単一のインストール SDA イメージにすべてパッケージします。その結果、この SDA イメージを基本イメージ (基本イメージにはオペレーティング・システム、デバイス・ドライバ、アンチウィルス・ツールなどのコア・アプリケーションが含まれます) と結合させて、共通スーパーイメージを形成することができます。ユーザーが属するビジネス・グループに関係なく、企業内のすべてのユーザーにこの共通スーパーイメージを配備することができます。

SDA は、以下の 2 つの部分から構成されます。

- SDA-アドミニストレーター
- SDA-インストーラー

システム管理者は、SDA-アドミニストレーターを使用して SDA イメージを作成します。ユーザーは SDA-インストーラーを使用して、ユーザーのアプリケーション・セットをシステム管理者が作成した SDA イメージからユーザーのコンピューターにインストールします。SDA-インストーラーをエンド・ユーザーのコンピューターにセットアップして、自動的に実行することもできます。エンドユーザーのコンピューター上で自動的に実行するための SDA-インストーラーをセットアップすることもできます。

概要

ここでは、IBM SDA プロセスの概要を記載します。

情報の収集

作業を始める前に、以下の情報を用意します。

- SDA イメージがサポートするオペレーティング・システム。 SDA-アドミニストレーターを使用して、Microsoft Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Millennium Edition、および Windows XP をサポートする SDA イメージを作成することができます。
- SDA イメージがサポートする言語。
- 各種の関連アプリケーションを必要とするグループ。たとえば、グループとは、社内の管理者、マーケティング部門、または給与計算部門などです。

- 定義したいユーザー・プロファイル・フィールド。少なくとも、どの関連アプリケーションをインストールするかをユーザーが指定できるように、グループ・ユーザー・プロファイル・フィールドを設定します。

ワークスペースの作成

ワークスペース (拡張子、.SSW を持ったファイル) には、SDA イメージをビルドする際に必要な情報がすべて含まれます。新規ワークスペースを作成することができます。あるいは新規ワークスペースを作成するために事前にビルドした SDA イメージからワークスペースを取り込むこともできます。「新規のワークスペースの作成」を選択したときは、新規ワークスペース作成ウィザードの指示によって、新規ワークスペースをセットアップするプロセスを実行します。ワークスペースのインターフェースは、Microsoft Windows Explorer のインターフェースと類似しています。このワークスペースを編集して、言語、グループ、およびアプリケーションを、ワークスペースに対して追加、コピー、移動、または削除することができます。

SDA イメージ・テキストの変換

グループ名およびユーザー・プロファイル・フィールド名を SDA イメージ用の異なる言語に変換することができます。SDA-アドミニストレーターによって、テキストはワークスペースから抽出され、ユーザーが変換プログラムに対して送ることができるファイルに入れられます。ユーザーは変換後のテキストを受け取ったときに、ユーザーのワークスペースに再統合します。

ユーザー・プロファイル・フィールド名とグループ名は異なる言語で表記することもできます。

SDA イメージのプレビュー

希望する SDA イメージを作成するために正しい情報をワークスペースに指定したことを確認するには、SDA イメージのプレビューを実行することができます。イメージのプレビューは、アプリケーションを実際にインストールすることではなく、選択済みビジネス・グループ用にどのアプリケーションをインストールするかを表示して、インストールをシミュレートします。

SDA イメージのビルド

ワークスペースに正しい情報を指定していることが確実であれば、SDA イメージをビルドします。SDA イメージをビルドすることによって、ユーザー・コンピューターに配備するためのすべてのアプリケーションのプログラムを SDA イメージにコピーします。

SDA イメージをユーザーのコンピューターにダウンロードする

SDA イメージをビルドした後で、SDA イメージをユーザーの各コンピューターに (IBM Remote Deployment Manager、PowerQuest Drive Image、または Norton Ghost などのツールを使用して) ダウンロードします。SDA イメージを配布用の CD にコピーすることもできます。

ユーザーは、SDA-インストーラーを使用して SDA イメージにアクセスして、ユーザーのアプリケーション一式をインストールすることができます。また必要なアプリケーションを自動的にインストールするように SDA-インストーラーを設定することもできます。

SDA イメージの開始

ユーザーは SDA イメージの **swselect.exe** を実行することによって SDA-インストーラーを開始することができます。

ソフトウェアをユーザーのコンピューターにインストールする

SDA-インストーラーを初めて実行するときに、SDA ワークスペースに定義したビジネス・グループのいずれかを選択するように、プログラムからプロンプトが出されます。ユーザーがビジネス・グループを 1 つ選択すると、SDA-インストーラーによって共通グループおよびユーザーの選択したビジネス・グループから必須アプリケーションがインストールされます。

必須アプリケーションがインストールされた後で、次のいずれかの手順を実行するように、SDA イメージをセットアップできます。

- 必須アプリケーションをインストールした後で、アプリケーションを SDA イメージ内にすべてそのままにしておきます。
- SDA イメージを削除して、ユーザーのハード・ディスク上のスペースを解放します (SDA イメージがユーザーのハード・ディスクにある場合)。
- すべてのアプリケーション・インストール・プログラムを SDA イメージから削除して、ハード・ディスク上のスペースを解放し、ユーザーが別の SDA イメージから追加のアプリケーションをハード・ディスク上、または接続したネットワーク・ドライブ上にインストールできるようにします。
- ユーザーが追加のアプリケーション (SDA ワークスペース内に共通グループおよびユーザーの選択したビジネス・グループのオプションとして指定したアプリケーション) を選択して、同一 SDA イメージからインストールできるようにします。

始めに

システムおよびワークスペースの情報を編集した後で、ワークスペースを作成 (または取り込み) することができます。始める前に、ご使用のワークスペースに必要な情報がすべてあることを確認してください。

以降「SDA - アドミニストレーター」ウィンドウを表示させたくない場合、ウィンドウが開いたときに「次回からこのウィンドウを表示しない」チェック・ボックスを選択します。これを実行しない場合、プログラムを開始すると必ずこのウィンドウはオープンします。

ワークスペースを使いこなす

SDA-アドミニストレーターはワークスペースをビルドし、表示します。ワークスペースのインターフェースは、Microsoft Windows Explorer のインターフェースと類似しています。ウィンドウの左側にワークスペースの構造、および各言語の個々のグループ・リストが表示されます。各言語には、固有のユーザー・プロファイル・フ

ワールドのセットが含まれており、ユーザーはそれを変更することができます。また、各言語には共通グループと、1 つまたは複数のそれ以外のグループが含まれます。さらに、各グループに 1 つまたは複数のサブグループが含まれる場合もあります。

「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの右側には、ウィンドウの左側で強調表示した項目の内容が表示されます。

注: 「SDA-アドミニストレーター」を終了する前に必ずワークスペース・ファイルを保管します。「ファイル」→「保存」または「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックして別のファイルとして保管します。

新規のワークスペースをつくる

ワークスペースの命名

ワークスペースの記述名を「ワークスペースの名前」フィールドに入力します。

言語の選択

SDA イメージにサポートさせたい、各言語を選択します。これらの言語は、配備するオペレーティング・システムの言語バージョンに対応している必要があります。

グループの指定

グループは、貴社独自の組織、仕事、または規律に固有のアプリケーション集合です。(たとえば、大学環境の場合、ジャーナリズム、歯科、およびビジネスなどがグループに含まれます)。SDA イメージにサポートさせたいグループをリストします。グループのリストには共通グループが必ず必要であり、ここにはすべてのグループが使用するアプリケーションが含まれます。

ユーザー・プロファイル・フィールドの指定

ユーザーが SDA イメージを初めてインストールする時に、ユーザーに入力させたいユーザー・プロファイル・フィールドを作成します。(たとえば、ユーザー・プロファイル・フィールドには従業員 ID、または場所などがあります。)

既存のワークスペースを開く

「ファイル」→「開く」をクリックし、既存ワークスペースを検索し、既存ワークスペースを使用して SDA イメージを作成することができます。その後で、ワークスペースの名前を変更して新規のワークスペースを作成し、そのワークスペースを必要に応じて変更することができます。

既存の SDA イメージからワークスペースを取り込む

既存の SDA イメージからワークスペースを取り込むことによって、既存の SDA イメージから新規ワークスペースを作成することができます。そこでワークスペースを変更して、新規 SDA イメージを作成することができます。SDA-アドミニストレーターは、既存 SDA イメージを作成したときにインストール (セットアップ) ファイルを取得した本来の場所からではなく、既存 SDA イメージのファイルを使用します。

SDA-アドミニストレーターは、アクティブ・ワークスペースとして新規のワークスペースを取り込みます。ワークスペースを編集してアプリケーションをグループに

追加することができます。また、ワークスペースに項目を追加、コピー、移動、および削除することができます。取り込みプロセスの情報およびエラー・メッセージは情報パネルに表示されます。

ツールバー・ボタン

左から右に、以下のツールバー・ボタンがあります。

「新規作成」

新規ワークスペースを作成するときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「ファイル」→「新規」をクリックすることと同じです。

「開く」

既存のワークスペースを開くときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「ファイル」→「開く」をクリックすることと同じです。

「保存」

アクティブ・ワークスペースを保管するときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「ファイル」→「保存」または「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックすることと同じです。

「切り取り」

選択した項目をワークスペースから削除してそれをクリップボードにコピーするときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「編集」→「切り取り」をクリックすることと同じです。

「コピー」

選択した項目をクリップボードにコピーするときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「編集」→「コピー」をクリックすることと同じです。

「貼り付け」

クリップボードの内容を選択した項目にコピーするときに、このボタンをクリックします。このオプションを使用することは、「編集」→「貼り付け」をクリックすることと同じです。

「情報パネル」

「情報パネル」を表示したり隠したりするときにこのボタンを押します。「情報パネル」には、ビルド、取り込み、および翻訳の取り出しおよび組み込み処理の結果が表示されます。

「ヘルプ」

SDA-アドミニストレーターのヘルプを表示するときに、このボタンをクリックします。

メニュー・オプション

以下のメニュー・オプションを使用して SDA ワークスペースを取り扱います。

ファイル

「ファイル」メニュー・オプションを使用してワークスペースを作成したり、開いたり、取り込んだりすることができます。

「新規」

このオプションは、新規ワークスペースを作成するときにクリックします。このオプションを使用することは、ツールバー上の「**新規作成**」ボタンをクリックすることと同じです。

「開く」

このオプションは、既存のワークスペースを開くときにクリックします。このオプションを使用することは、ツールバー上の「**開く**」ボタンをクリックすることと同じです。

「取り込み」

このオプションは、既存の SDA イメージからワークスペースを取り込むときにクリックします。

編集

「編集」メニュー・オプションは、多くの Microsoft Windows アプリケーション内の編集オプションと類似しています。

「選択されたオブジェクト」

このオプションは、ワークスペースの名前を変更するときにクリックします。

「削除」

このオプションは、選択した言語、グループ、またはアプリケーションを削除するときにクリックします。

「切り取り」

このオプションは、選択した言語、グループ、またはアプリケーションを削除して、クリップボードに保管するときにクリックします。このオプションをクリックすることは、ツールバー上の「**切り取り**」ボタンをクリックすることと同じです。

「コピー」

選択した項目をクリップボードにコピーするときに、このオプションをクリックします。このオプションをクリックすることは、ツールバー上の「**コピー**」ボタンをクリックすることと同じです。

「貼り付け」

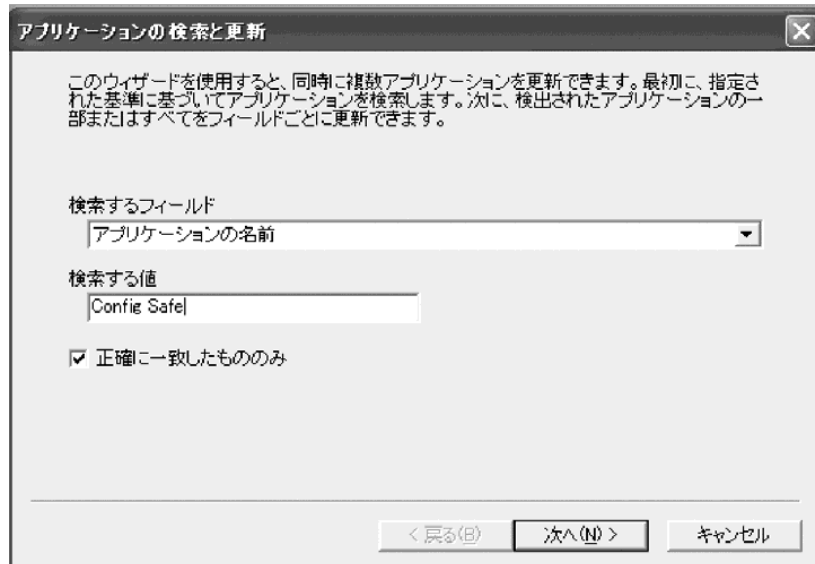
クリップボードの内容を選択した項目にコピーするときに、このオプションをクリックします。このオプションをクリックすることは、ツールバー上の「**貼り付け**」ボタンをクリックすることと同じです。

「検索と更新」

このオプションは、プロパティの変更内容を多数のアプリケーションに伝

えるときに使用します。たとえば、複数のグループや言語内の 1 つ以上のアプリケーションについてインストール・ソース・ファイルの位置を変更したい場合などです。

検索を実行して、更新するアプリケーションだけのリストに絞ります。アプリケーション名、言語、グループ、またはインストール・ファイル位置などのアプリケーション・プロパティ・フィールドのいずれについても検索することができます。「次へ」をクリックします。



検索結果から、検索結果パネルの各項目のそばのチェック・ボックスを選択して、更新するアプリケーション項目を選択します。その後で更新するフィールドと割り当てる新規の値を選択します。



「**選択の更新**」ボタンをクリックして選択済みアプリケーションだけを更新するか、「**すべての結果の更新**」ボタンをクリックして「検索結果」パネル内のすべてのアプリケーションを更新します。「**完了**」をクリックします。

表示

「表示」メニュー・オプションを使用して「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの外観を変更することができます。

「ツールバー」

このオプションは、ツールバーを表示したり隠したりするときに使用します。

「ステータスバー」

このオプションは、「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの下部にある「ステータスバー」を表示したり、隠したりするときにクリックします。ステータスバーには、強調表示したメニュー項目の機能が表示されます。

「情報パネル」

このオプションは、「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの下部にある「情報パネル」を表示したり、隠したりするときにクリックします。「情報パネル」には、ビルド、取り込み、および翻訳の取り出しおよび組み込み処理の結果が表示されます。

「オペレーティングシステム」

このオプションは、単一のオペレーティング・システム用のアプリケーションを表示するときにクリックします。Microsoft Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Millennium Edition、または Windows XP 用のアプリケーションを選択して表示することができます。

挿入

以下のメニュー・オプションを使用して、言語、グループ、サブグループ、アプリケーション、またはプロファイルのフィールドを SDA イメージに挿入します。

「言語」

このオプションは、1 つ以上の言語をワークスペースに追加するときにクリックします。

「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、ワークスペース名をクリックしてから、「**挿入**」→「**言語**」メニュー・オプションをクリックします。または、ワークスペース名を右マウス・ボタン・クリックして、「**言語の挿入**」をクリックすることもできます。

「言語の挿入」ウィンドウから、ワークスペースに追加したい言語をクリックして、「**OK**」をクリックします。

「グループ」

このオプションは、グループをワークスペース内の言語に追加するときにクリックします。

「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、グループを追加する先の言語をクリックしてから、「**挿入**」→「**グループ**」メニュー・オプションをクリックします。また、言語を右マウス・ボタン・クリックして、

「グループの挿入」をクリックすることもできます。「グループの挿入」ウィンドウに新規グループの名前を入力して、「OK」をクリックします。

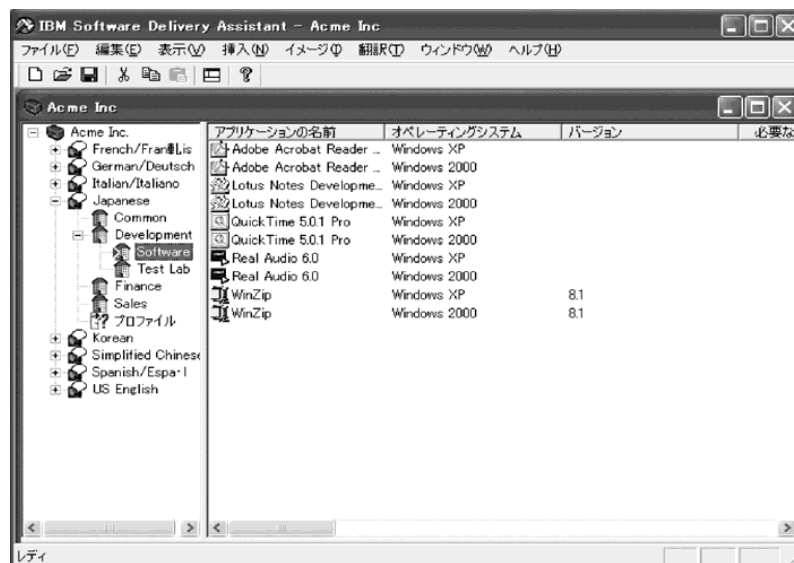
各グループにパスワードを割り当てることもできます。イメージを配備した後で、選択済みグループのアプリケーション・セットをインストールするためのパスワードを、ユーザーが入力する必要があります。

「グループの挿入」ウィンドウ内でのグループを SDA ワークスペースに追加する場合、パスワードを「パスワード」フィールドに入力します。また、グループを右マウス・ボタン・クリックし、「編集」オプションをクリックして、グループに割り当てたパスワードを変更することもできます。

「サブグループ」

このオプションは、グループ内のアプリケーション・サブグループを作成するときにクリックします。これによって、ユーザーはグループ内に階層を構成することができ、大量のグループを管理する煩雑さが軽減されます。たとえば、ユーザーの企業内に各種の部門を持つことができます。各部門内のそれぞれのビジネス・グループには固有のアプリケーション・セットが必要です。SDA によって、各グループの中で個々の部門およびサブグループ用のグループを作成することができます。

SDA によるグループとサブグループを管理する方法を、以下に示します。



グループとサブグループを追加するには、以下の規則を適用します。

- 言語には、グループとユーザー・プロファイルのフィールドを含めることができます。
- グループには、サブグループとアプリケーションを含めることができます。
- サブグループには、アプリケーションだけを含めることができます。サブグループに、他のサブグループを含めることはできません。
- サブグループを言語内にコピーすると、サブグループはグループに変換されます。
- グループを別のグループにコピーすると、そのグループはサブグループに変換されます。

「アプリケーション」

このオプションは、アプリケーションを言語内のグループまたはサブグループに追加するときにクリックします。

「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、アプリケーションを追加する先のグループまたはサブグループをクリックしてから、「挿入」→「アプリケーション」をクリックします。または、グループを右マウス・ボタン・クリックして、「アプリケーションを挿入」をクリックすることもできます。「アプリケーションを挿入」ウィンドウ内に、アプリケーションに関する情報を指定します。各タブ上に必要な情報を指定してから、「OK」をクリックします。

「プロファイル」フィールド

このオプションは、言語内にユーザー・プロファイル・フィールドを追加するときにクリックします。ユーザー・プロファイル・フィールドは、SDAからソフトウェアをインストールするユーザーを、識別する際に役立ちます。オープンしている「ユーザープロファイル」ウィンドウで、そのフィールドを「必須」（ユーザーが必ず入力する必要があることを意味する）として指定することができます。また、フィールド・サイズを文字で定義したり、ユーザーが選択する有効エントリーをリストしたりすることができます。

ユーザー・プロファイル・フィールドの応答は c:\\$sdaprof.ini の隠しファイルに保管されます。

アプリケーション挿入プロパティ

「アプリケーションを挿入」ウィンドウでのアプリケーションをワークスペースに追加することができます。

「一般」：「一般」タブ内のフィールドは、アプリケーションについての基本情報を指定するときに使用します。



「アイコンの変更」

このオプション機能によって、デフォルト・アイコン以外のアイコンを使用することができます。「アイコンの変更」ボタンをクリックして、そのア

アイコンに関連したファイル (通常は .EXE、.ICO、または .DLL ファイル) を参照します。アプリケーションをクリックして、「開く」をクリックします。表示されているアイコンの 1 つを選択することができます。システムは、「一般」タブ内に表示されたアイコンを SDA イメージ内のアプリケーションと関連づけます。

サンプル・アイコンは、SDA-インストーラーに組み込まれています。

「アプリケーションの名前」

この必須フィールドに SDA イメージ内に表示したいアプリケーションの名前を入力する必要があります。

「オペレーティングシステム」

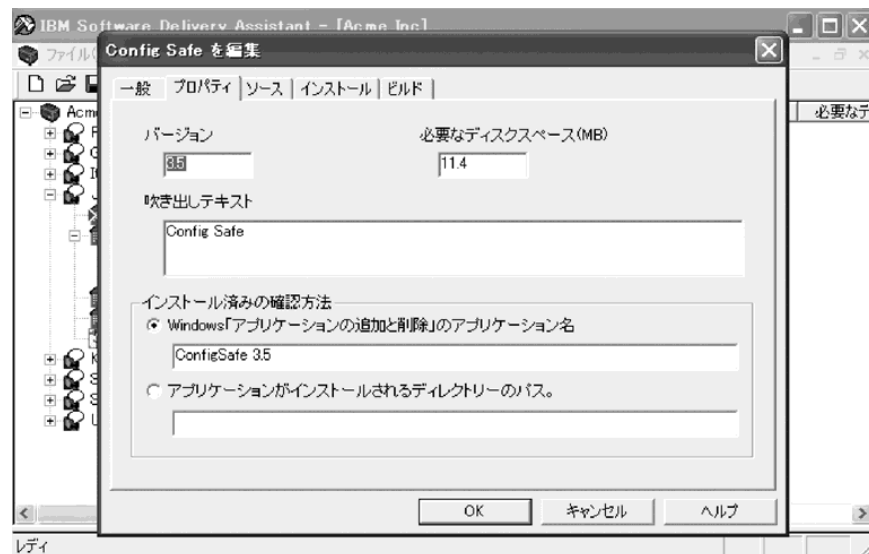
アプリケーションを配置したいオペレーティング・システムを選択する必要があります。

注: 異なるオペレーティング・システムにそれぞれ異なるバージョンのアプリケーションが必要な場合、アプリケーションはワークスペースに別々に追加する必要があります。

「言語」と「グループ」

これらのフィールドには、アプリケーションが属する言語およびグループが表示されます。「一般」タブ内のこれらのフィールドは変更することができません。

「プロパティ」: 「プロパティ」タブ内の項目はすべて、SDA-インストーラーのオプション・インストール部分に表示されるデータを提供します。SDA が必要なアプリケーションをインストールした後で、SDA イメージ全体をユーザーのハード・ディスク上にそのまま残しておくように指定している場合に限り、これらのオプション項目は適用できます。



「バージョン」

SDA-インストーラー内に表示させたいアプリケーションのバージョン番号を入力します。

「必要なディスクスペース (MB)」

通常のアプリケーションのインストールに必要なディスク・スペースの概算量を入力します。この値は SDA-インストーラーに表示されるだけであり、この情報はいずれのプログラムも使用しません。

「吹き出しテキスト」

SDA-インストーラー内で、ユーザーがカーソルをアプリケーション名の上に位置付けたときに表示する、簡単な説明を入力します。

「Windows 「アプリケーションの追加と削除」 のアプリケーション名」

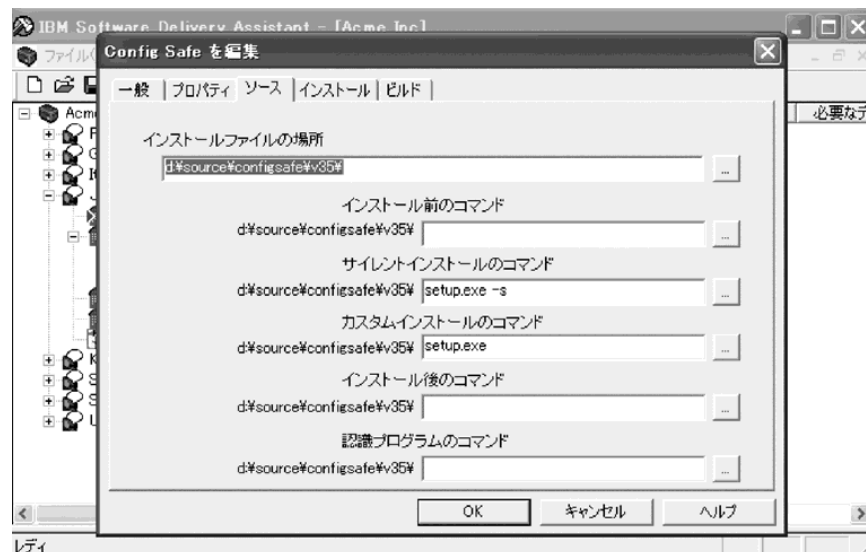
アプリケーションをインストール済みかどうかを判断したり、SDA-インストーラーを使用してアプリケーションをアンインストールできるようにしたりするには、Windowsの「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに表示されるアプリケーション名を正確に入力します。

「アプリケーションがインストールされるディレクトリーのパス」

「アプリケーションの追加と除去」でプログラム名が表示されないときに、アプリケーションをインストールしている場所を SDA-インストーラーが判別できるようにしたい場合、アプリケーションの完全修飾パスを入力します。これにより SDA は、別の方法でアプリケーションがインストール済みかどうかを判別することができます。たとえば、以下のようなファイルです。

C:\PROGRAM FILES\LOTUS\NOTES\NOTES.EXE.

「ソース」：「ソース」タブ内のフィールドは、インストール・ファイルの場所と名前を指定するときに使用します。「サイレントインストールのコマンド」ファイル、または「カスタムインストールのコマンド」ファイルのどちらかを指定する必要があります (両方を指定することもできます)。両方を指定した場合、システムのデフォルトは「サイレントインストールのコマンド」です。



「インストールファイルの場所」

アプリケーションをインストールする際に使用するファイルが置かれたパスを指定する必要があります。この必須フィールドに指定するパスは、「ソース」タブの「サイレントインストールのコマンド」フィールドのパスとして自動的に表示されます。

「インストール前のコマンド」

アプリケーションのインストール・プロセスの一環として、あるプログラムを実行する直前にプログラムを実行するように設定するオプションがあります。

「インストール前のコマンド」によって、レジストリー・キーの設定、またはバッチ・コマンドのインプリメントなどの環境をカスタマイズすることができます。

「サイレントインストールのコマンド」

「カスタムインストールのコマンド」を指定しない場合、このフィールドに入力する必要があります。サイレント・インストール (SETUP.EXE -S など) を実行する際に必要なスイッチなどの「サイレントインストールのコマンド」の名前を入力します。

サイレント・インストールは、ユーザーからの入力なしで発生します。アプリケーションをインストールするために使用するプログラム (InstallShield、WiseInstaller、Windows Installer など) が、サイレント・インストールをサポートしていることを確認する必要があります。大半のプログラムは、サイレント・インストールをサポートしています。

「カスタムインストールのコマンド」

「サイレントインストールのコマンド」ファイルを指定しない場合、このフィールドに入力する必要があります。「カスタムインストールのコマンド」ファイルの名前を入力します。

カスタム・インストールは、インストール・オプションや宛先ディレクトリーなどユーザーからの入力を伴って発生します。

「インストール後のコマンド」

アプリケーションのインストール・プロセスの一環のプログラムを実行した直後にプログラムを実行するように設定するオプションがあります。

「インストール後のコマンド」によって、インストールが完了した後でインストール済みアプリケーションをカスタマイズすることができます。また、SDA-インストーラーによってインストールされたアプリケーションをカスタマイズ構成することもできます。

「インストール後のコマンド」の例としては、アンチウィルス・ソフトウェアの自動更新サービスの設定があります。

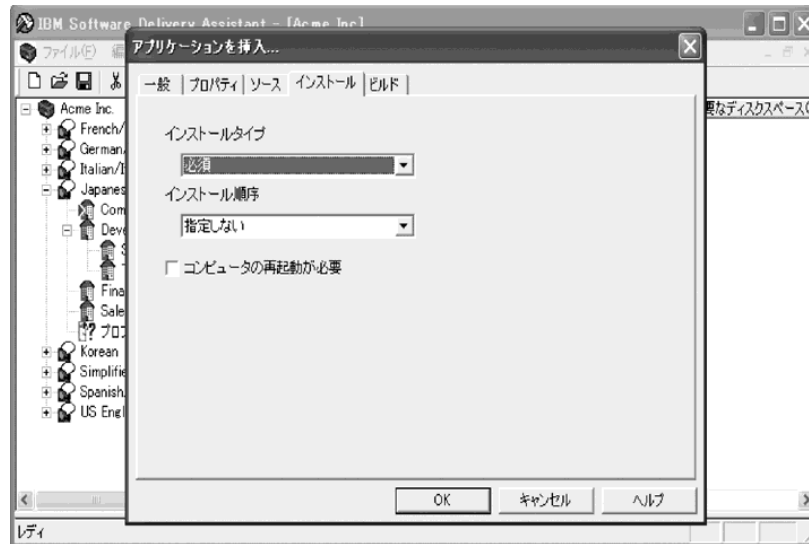
「認識プログラムのコマンド」

このコマンドによって、アプリケーションは、そのアプリケーションに関連した認識プログラムを持たせることができます。このプログラムは、アプリケーションが特定のシステムにインストール可能かどうかを判断します。通常認識プログラムは、特定のハードウェア装置の存在を検出します。

認識プログラムは、条件が偽であれば 0、条件が真であれば 1 を戻します。たとえば、認識プログラムは DVD ドライブの存在をチェックして真であれば 1 を戻します。この例の場合、DVD プレイヤー・アプリケーションはこの認識プログラムを指定して、システムに DVD ドライブが存在する場合にのみインストールするようにします。

注: 認識プログラムを提供する必要があります。

「インストール」： 「インストール」タブ内のフィールドは、アプリケーションのインストール・プロパティを指定するときに使用します。



「インストールタイプ」

メニューから以下のオプションのいずれかをクリックする必要があります。

- 「オプション」：アプリケーションのインストールはオプションです。
- 「推奨」：ここでもアプリケーションのインストールはオプションです。ただし、SDA-インストーラーが初めて稼動するときに、「SDA-インストーラー」ウィンドウでデフォルトのアプリケーションとして選択されます。ユーザーは、インストールしないアプリケーションを選択解除する必要があります。
- 「必須」：アプリケーションは、SDA-インストーラーの自動インストールの一部として、無条件にインストールされます。

「オプション」および「推奨」設定では、インストールするアプリケーションをユーザーが手動で選択する必要があります。

「インストール順序」

このメニューは、アプリケーションに対して、インストール中の他のアプリケーションとの相対的なインストール優先順位を割り当てるときに使用します。「インストール順序」は最大優先順位である **1** から始まり、「指定しない」まであります。同一優先順位を割り当てたアプリケーションは、お互いにランダムにインストールされます。

「コンピュータの再起動が必要」

コンピューターを再始動してアプリケーションのインストールを完了する場合、このチェック・ボックスを選択します。この選択は、SDA-インストーラーのオプション・インストールの一環としてインストールされるアプリケーションに対してのみ適用されます。オプション・アプリケーションのインストールが完了すると、SDA からコンピューターを再始動するようにプロンプトが出されます。

SDA バージョン 1.3 は、単一の順序 (順序を指定している場合) に従って、共通グループおよびビジネス・グループのアプリケーションの両方をインストールします。

「ビルド」: 「ビルド」タブ内のフィールドは、SDA イメージのインストール・ファイルのディレクトリー構造をカスタム・ビルドするときに使用します。ここに指定するディレクトリーは、イメージ・プロパティー内に指定する「ビルド・ディレクトリー」に追加され、インストール・ソースをコピーする先の完全修飾パスを作成します。



「インストール (セットアップ) ファイルの暗号化」

このオプション設定によって、SDA イメージをビルドするときに、(イメージ・プロパティー内に指定された) パスワードを使用して、PKZIP ソフトウェアで 1 つまたは複数のアプリケーションを暗号化することができます。

暗号化によって、SDA イメージ・ディレクトリーをユーザーが手動でナビゲートできないようにしたり、(主に特許権使用料やライセンスなどの理由のために) インストールしてはいけないアプリケーションをユーザーがインストールできないようにします。

アプリケーションの暗号化にマークすると、SDA-アドミニストレーターはパスワードと一緒にインストール・ファイルを ZIP して、.ZIP ファイルを SDA イメージにコピーします。SDA-インストーラーによって暗号化されたアプリケーションをインストールする場合、アプリケーション用のインストール・ソースはユーザーのハード・ディスクの一時ディレクトリーに UNZIP されます。インストール・プログラムは一時ディレクトリーから実行された後で、削除されます。

注: アプリケーションの暗号化は、ライセンスの制約のために暗号化が必要な場合にだけ使用します。暗号化することによって、インストール・プログラムを実行する前に、暗号化されたアプリケーションをそれぞれ解凍するためにインストール時間が長くなります。

イメージ

以下のメニュー・オプションは、ワークスペースに組み込む SDA イメージを取り扱うときに使用します。

「プレビュー」

このオプションは、作成する SDA イメージの正しい情報がワークスペースにあることを確認するときにクリックします。SDA イメージのプレビューは、SDA-インストーラーを使用するアプリケーションのインストールをシミュレートします。

イメージをプレビューすることは、アプリケーションを実際にインストールすることではなく、選択済みビジネス・グループにどのアプリケーションをインストールするかを表示して、インストールをシミュレートします。

「ビルド」

このオプションは、SDA イメージ・ファイルをご使用のシステムのビルド・ディレクトリーに保管するときに使用します。



チェック・ボックス「インストールファイルを **SDA イメージにコピーせず**に、...」を選択して、各アプリケーションのソースを SDA イメージに個々にコピーしないで、アプリケーション・ソースがオリジナル・ソース・ディレクトリーに常駐できるようにします。これは、SDA イメージを小さく保つのに役立ちます。ただし、アプリケーションをインストールするにはネットワークにアクセスする必要があり、ネットワークにアクセスするためにインストール時間は長くなります。

注: 作成する SDA イメージの正しい情報がワークスペースにあることを確認するには、SDA イメージをビルドする前に SDA イメージのプレビューを実行してください。

「レポート」

このオプションは、アプリケーション・セットのリストなどの、印刷可能なフォーマット済みのレポートを生成するときにクリックします。

レポートでは、アプリケーションが言語ごとに分類されます。レポートには、以下のデフォルト項目が含まれます。

- 「アプリケーションの名前」
- 「グループ名」
- 「サブグループ名」
- 「オペレーティングシステム」

レポートに表示するアプリケーションのプロパティを選択して、レポートをカスタマイズすることができます。たとえば、それぞれのアプリケーションについてインストール・ファイルの場所やバージョンを追加することができます。



レポートに含める追加フィールドを選択してから、「**OK**」をクリックして標準 ASCII フォーマットのレポート・ファイルを生成します。



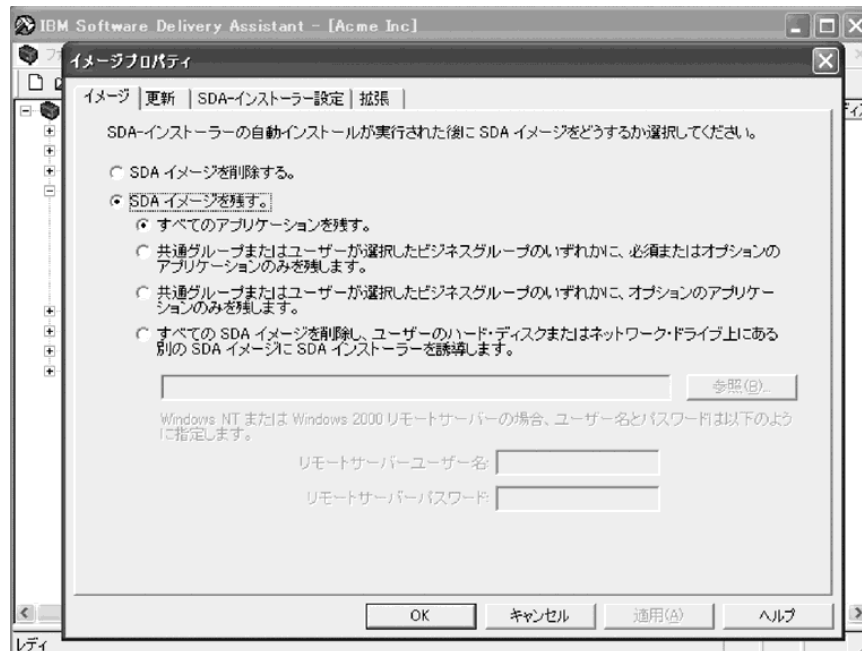
「イメージプロパティ」

このオプションは、必須アプリケーションをユーザーのシステムにインストールした後で、SDA イメージの処置方法を定義するときにクリックします。

「イメージ」： 「イメージ」タブのオプションは、SDA-インストーラーの自動インストールにより必須アプリケーションがインストールされた後の、SDA イメージの処置方法を指定するときに使用します。

SDA イメージ・オプション	結果
「すべてのアプリケーションを残す。」	管理者が、SDA イメージ内の「すべての」アプリケーションを SDA イメージ内に常駐するように指定できるようにします。必須アプリケーションをインストールした後で、SDA イメージからは削除されるものはありません。
「共通グループまたはユーザーが選択したビジネスグループのいずれかに、必須またはオプションのアプリケーションのみを残します。」	(インストールが損傷を受けた場合) ユーザーが必須アプリケーションの 1 つを再インストールできる、またはオプション・アプリケーションあるいは推奨されるアプリケーションのどちらかをインストールできるようにします。
「共通グループまたはユーザーが選択したビジネスグループのいずれかに、オプションのアプリケーションのみを残します。」	インストール済みの必須アプリケーションをすべて削除します。ユーザーは、共通グループまたはユーザーが選択したグループの中で残っているオプション・アプリケーションあるいは推奨されるアプリケーションのみにインストールすることができます。
「すべての SDA イメージを削除し、ユーザーのハード・ディスクまたはネットワーク・ドライブ上にある別の SDA イメージに SDA インストーラーを誘導します。」	別のアプリケーション・セットを含む代替の SDA イメージを指定します。このアプリケーション・セットには、ユーザーが選択することができるオプション・アプリケーションが含まれている必要があります。代替アプリケーション・セット内の必須アプリケーションは、自動的にインストールされません。

次の図は、「イメージプロパティ」ウィンドウにあるオプションを示しています。



「すべての SDA イメージを削除し、ユーザーのハード・ディスクまたはネットワーク・ドライブ上にある別の SDA イメージに SDA インストーラーを誘導します。」オプションを選択した場合、「リモートサーバーユーザー名」および「リモートサーバーパスワード」フィールドにユーザー名とパスワードを入力するかどうかを選択します。

ここでユーザー名とパスワードを入力すると、ユーザーは情報を入力しないでアプリケーションをインストールすることができます。これらのフィールドに入力しない場合、プログラムをインストールするときに、ユーザーは情報を入力する必要があります。

「更新」： ファイル・サーバー上の複数 SDA イメージ用にアプリケーションの更新バージョンを提供することができます。 SDA-インストーラーがユーザーのアプリケーション・セットをインストールする場合、アプリケーションをインストールする前に、それぞれのアプリケーションごとに最新バージョンを別の (通常はリモート・ファイル・サーバー上の) SDA イメージ 内で検索することができます。最新バージョンのアプリケーションを見付けた場合、SDA-インストーラーは、ユーザーのハード・ディスク上の SDA イメージ内にあるアプリケーションではなく、検出したバージョンのアプリケーションをインストールします。ただし、インストールするアプリケーション・セットは、ユーザーのハード・ディスク上の SDA イメージによって決まります。

以下に、管理者が更新済み SDA イメージを指定できる方法を示します。



「更新された SDA イメージの場所 (ファイルサーバー上)」にロケーションを入力した場合、「リモートサーバーユーザー名」および「リモートサーバーパスワード」フィールドにユーザー名とパスワードを入力するかどうかを選択します。

ここでユーザー名とパスワードを入力すると、ユーザーは情報を入力しないで最新のアプリケーションを入力することができます。これらのフィールドに入力しない場合、プログラムをインストールするときに、ユーザーは情報を入力する必要があります。

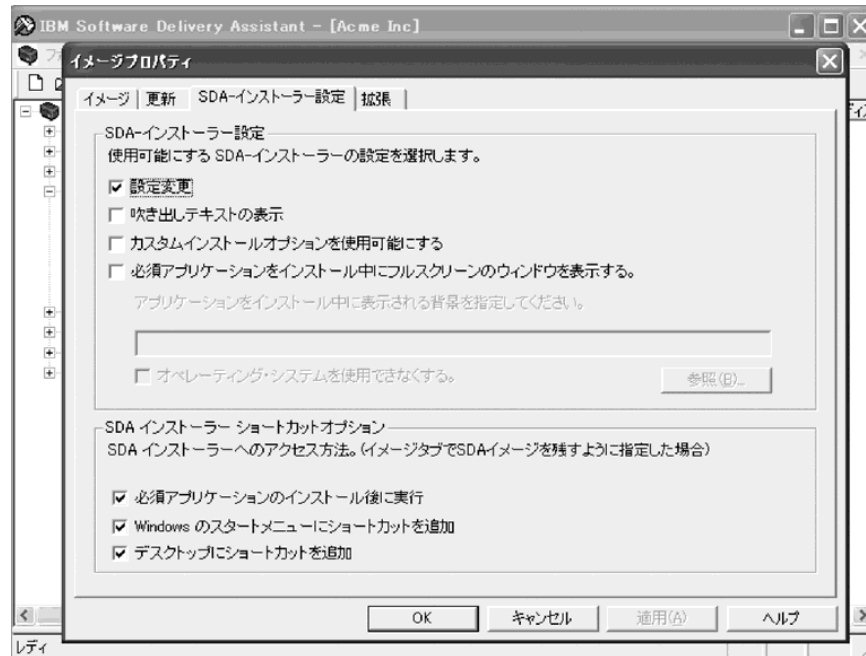
インストールするアプリケーションごとに、ローカル・ハード・ディスク上のアプリケーションのバージョン番号と更新済み SDA イメージ上のアプリケーションのバージョン番号を比較して、どちらのバージョンをインストールするかを決めます。更新済み SDA イメージ上のバージョンがより最新のバージョンの場合、その新しいバージョンをインストールするかどうかを確認するプロンプトが出されます。たとえば、バージョン 2.01 はバージョン 1.02 より最新です。

それぞれのアプリケーションごとに、バージョン番号をアプリケーション用の「プロパティ」タブに指定します。バージョン番号は数値形式 (1.0、1.01、または 4.62 など) で指定します。

SDA-インストーラーが更新済み SDA イメージ内に全く同一の名前、グループ、言語、およびオペレーティング・システムのアプリケーションを検出した場合に限り、そのアプリケーションについてバージョンのチェックを行います。

「SDA-インストーラー設定」: SDA-インストーラープログラム内の機能を使用可能にしたり、使用不可にしたりするときに、これらの設定値を使用します。これらの設定と関連させるためには、ユーザーのハード・ディスク上に置いておく SDA イメージを指定する必要があります。(SDA イメージに対する処置方法を指定するには、「イメージ」→「プロパティ」をクリックして、「イメージ」タブをクリック

クします。)



「設定変更」

このオプションは、SDA-インストーラーのオプション・インストール部分の設定値 (SDA イメージの場所、言語、吹き出しテキスト、および「カスタムインストール」チェック・ボックスの表示) を変更するときをクリックします。

「吹き出しテキストの表示」

このオプションは、ユーザーがカーソルをアプリケーション名の上に位置付けたときに、個々のアプリケーションの説明を表示する場合にクリックします。

「設定変更」オプションをクリックすると、「SDA-インストーラー」ウィンドウの設定を変更して、説明の表示方法を制御することができます。(アプリケーションの吹き出しテキストを作成するには、「アプリケーションを挿入」ウィンドウの「プロパティ」タブをクリックします。)

「カスタムインストールオプションを使用可能にする」

このオプションは、カスタム・インストール・オプションをユーザーが使用できるようにするときをクリックします。

このオプションをクリックすると、カスタム・インストール・コマンドを指定しているアプリケーションのそれぞれについて「カスタムインストール」チェック・ボックスが表示されます。「設定変更」オプションをクリックすると、このオプションによってデフォルトが設定され、ユーザーは「SDA-インストーラー」ウィンドウの設定を変更して、「カスタムインストール」チェック・ボックスを表示したり隠したりすることができます。

「必須アプリケーションをインストール中にフルスクリーンのウィンドウを表示する」 このオプションは、アプリケーションをインストールしている間、背景にフルスクリーン・ビットマップを表示して、ユーザーが Windows デスクトップにアクセスしないようにするときをクリックします。

「アプリケーションをインストール中に表示される背景を指定してください」

背景に表示するビットマップ・ファイルの完全修飾パスを入力します。何も指定しない場合、デフォルトのデスクトップ・カラーが使用されます。

「オペレーティング・システムを使用できなくする」

これによって、アプリケーションをインストールしている間、ユーザーは完全に締め出され、インストール・ウィンドウはすべて見えなくなります。

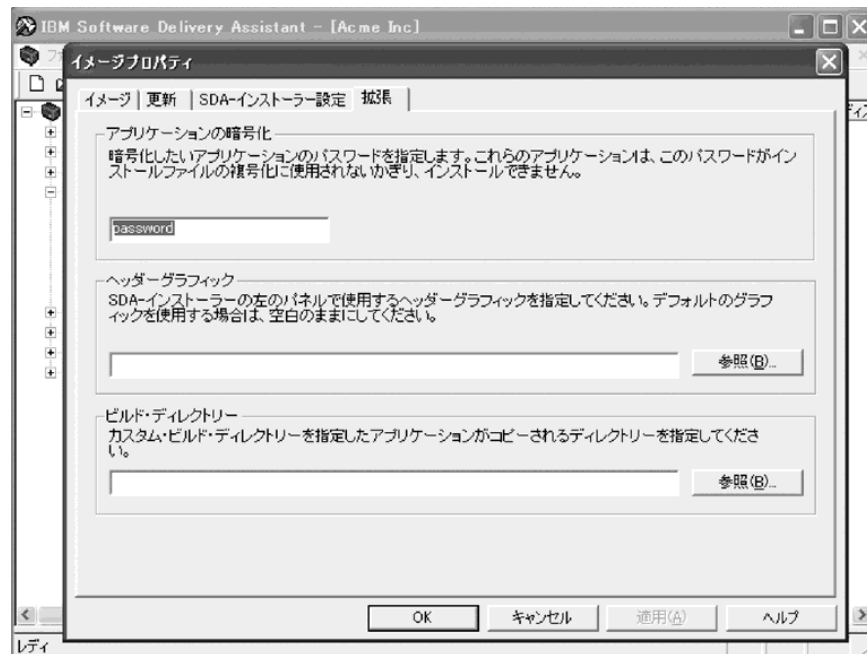
重要: なんらかの入力が必要なアプリケーションの場合、システムからユーザーが締め出されてシステムが動かなくなるので、このオプションを使用しないでください。

「SDA-インストーラー ショートカットオプション」

SDA-インストーラープログラムをユーザーのハード・ディスク上に置いたままにするように選択すると、次のオプションから 1 つまたは複数個選択することができます。

- 「必須アプリケーションのインストール後に実行」
- 「Windows のスタートメニューにショートカットを追加」
- 「デスクトップにショートカットを追加」

「拡張」: 以下の設定は、「アプリケーションの暗号化」、「ヘッダーグラフィック」、「ビルド・ディレクトリー」プロパティーを指定するときに使用します。



「アプリケーションの暗号化」

暗号化するように選択したアプリケーションで使用するパスワードを設定することができます（「インストール (セットアップ) ファイルの暗号化」チェック・ボックスで選択したアプリケーション）。これらの暗号化したアプリケーションは、このパスワードを使用してインストール・ファイルを暗号解除しなければインストールすることができません。

「ヘッダーグラフィック」

このフィールドは、「SDA-インストーラー」ウィンドウの左上にあるグラフィックを変更するときを使用します。「ヘッダーグラフィック」フィールドの中のグラフィック・ファイルをブラウズします。このファイルは透過性の .GIF イメージ、かつ 140 x 140 ピクセル以内でなければなりません。

このタブは、自動インストールした後、SDA イメージをユーザーのハード・ディスクに置いたままにする場合にのみ適用できます。(自動インストール後の SDA イメージに対する処置方法を指定するには、「イメージ」→「プロパティ」をクリックして、「イメージ」タブをクリックします。)

「ビルド・ディレクトリー」

本フィールドは、カスタム相対ビルド値が指定されたアプリケーションの場合、アプリケーション・ソースをコピーする先の完全修飾パスを指定するときを使用します。たとえば、本フィールドにC:\SDA\APPS を設定し、Norton AntiVirus アプリケーションの相対ビルド・ディレクトリーがNORTON\1.0 に設定されると、インストール・ソースがビルド時にコピーされる先の結果ディレクトリーは C:\SDA\APPS\NORTON\1.0\<setup files> になります。

「翻訳」

グループ名およびユーザー・プロファイル・フィールド名を別の言語に翻訳することができます。SDA-アドミニストレーターはこれらのテキスト項目を抽出して、ユーザーが翻訳に送ることができるファイル (.INI) に入れます。

「送る」

SDA イメージ・ファイルからテキストを取り出して、ユーザーのハード・ディスクのディレクトリーに保管することができます。

「受け取る」

ユーザーがテキストを翻訳した後、SDA-アドミニストレーターは、テキストを元のワークスペースに組み込み (受け取り) ます。

「ウィンドウ」

これらのオプションは、大半の Microsoft Windows アプリケーションのウィンドウ・オプションと類似しています。

「重ねて表示」

ウィンドウが重なり合うように調整します。

「上下に並べて表示」

ウィンドウが縦方向にも横方向にも重ならないように調整します。

「左右に並べて表示」

ウィンドウが左方向にも右方向にも重ならないように調整します。

ユーザーのコンピューター上で SDA-インストーラーを開始する

イメージを配備した後で、以下のいずれかの方法を使用してユーザーのコンピューター上で SDA-インストーラーを実行することができます。コンピューターを再起動させてから SDA-インストーラーを実行します。

RunOnce レジストリー・キーの中にエントリーを作成する

コンピューターが始動したときに SDA-インストーラーを自動的に実行するには、SDA-インストーラーを RunOnce レジストリー・キーに追加します。.REG ファイルを使用し、適切なレジストリー・キーを以下の例のようにして追加することができます。

- Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0、および Millennium Edition の場合:

```
REGEDIT4
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce]
```

```
"Run SDA-Installer"="d:%sdaimage%SWSELECT.EXE"
```

- Windows 2000 の場合:

```
Windows レジストリ エディタ Version 5.00
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce]
```

```
"Run SDA-Installer"="d:%sdaimage%SWSELECT.EXE"
```

- Windows XP の場合:

```
Microsoft (R) レジストリ エディタ Version 5.1
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce]
```

```
"Run SDA-Installer"="d:%sdaimage%SWSELECT.EXE"
```

上記の例では、`d:%sdaimage` は SDA イメージが置かれたドライブおよびディレクトリーです。

「スタートアップ」フォルダー内にショートカットを作成する

「スタートアップ」フォルダーの中にショートカットを作成すると、コンピューターを初めて始動するときに SDA-インストーラーを自動的に実行することができます。ユーザーのコンピューターの「スタートアップ」フォルダーに、SDA-インストーラーを始動するバッチ・ファイルやプログラムのショートカットを作成し、後でショートカットをフォルダーから削除します。

ユーザーが SDA-インストーラーを実行できるようにする

ユーザーが必要に応じて SDA-インストーラーを実行できるようにします。

Windows デスクトップ上の、またはスタート・メニュー内の SDA-インストーラーのショートカットを作成します。

Windows NT を使用して SDA-インストーラーを実行する

多くのアプリケーションのインストール・プロセスには、Microsoft Windows リソース (レジストリー、システム・ディレクトリーなど) の更新が組み込まれているため、ユーザー・コンピューター上のユーザー・アカウントには、コンピューターにアプリケーションを SDA-インストーラーを介してインストールできるアドミニストレーター特権が必要です。ユーザー・アカウントにアドミニストレーター特権を持たせたくない場合、代替の方法を使用して SDA-インストーラーへのアクセスに必要な特権を取得する必要があります。

Windows NT Zero Administration Kit (ZAK) にはスクリプトとバッチ・ファイルがあり、Windows NT はこれを使用して、他のプログラムを呼び出してレジストリーの変更内容を適用したり、SDA-インストーラーなどのプログラムを始動したりすることができます。

ZAK の詳細、および Windows NT セットアップの終わりに自動的に実行するプログラムの組み込み方法については、Microsoft Web site (www.microsoft.com) を参照してください。

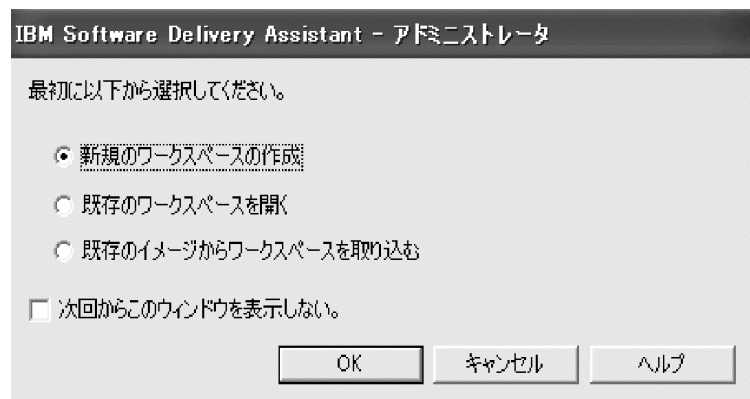
作業

以下の手順は、Software Delivery Assistant を使用方法を示しています。

新規ワークスペースの作成

新規ワークスペースを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」ウィンドウから、「新規ワークスペースの作成」をクリックし、「OK」をクリックします。



「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」ウィンドウが隠れている場合、「ファイル」→「新規」をクリックします。新規 SDA ワークスペースのセットアップには「新規ワークスペース作成」ウィザードが役立ちます。

2. 新規ワークスペースの名前を入力して、「次へ」をクリックします。
3. SDA イメージにサポートさせたい言語を選択して、「次へ」をクリックします。
4. 「追加」ボタンをクリックして SDA イメージにサポートさせたいグループを編集してから、「次へ」をクリックします。
グループの指定について詳しくは、28 ページを参照してください。
5. 「追加」ボタンをクリックして、初めて SDA-インストーラーを使用するときにユーザーに入力させたいユーザー・プロファイル・フィールドを編集してから、「完了」をクリックします。

ここで、ワークスペースを編集して、それぞれのグループにアプリケーションを追加することができます。

グループの指定

グループを追加するには、次のステップを実行します。

1. グループに追加したい言語をクリックします。
2. 「挿入」 → 「グループ」をクリックするか、言語を右マウス・ボタン・クリックして「グループの挿入」をクリックします。
3. グループ名を入力して、「OK」をクリックします。
それぞれのグループについてこのステップを繰り返します。

リストからグループを削除するには、そのグループをクリックして、「削除」をクリックします。リスト内のグループ名を変更するには、そのグループをクリックして「編集」をクリックします。新しい名前を入力して Enter (キー) を押します。

ユーザー・プロファイル・フィールドの指定

ユーザー・プロファイル・フィールドを追加するには、次のステップを実行します。

1. ユーザー・プロファイル・フィールドを追加したい先の言語のグループをクリックします。
2. 「挿入」 → 「プロファイルフィールド」をクリックするか、または右マウス・ボタン・クリックして「プロファイルフィールドを挿入」をクリックします。
「ユーザープロファイル」ウィンドウがオープンします。
3. 「フィールド名」フィールドに、追加したいユーザー・プロファイル・フィールドの名前を入力します。
4. 「サイズ」フィールドに、受け入れることができる最大文字数を入力します。
指定したサイズを超えた入力は、システムによって切り捨てられます。
5. ユーザーが必ず入力をするようにしたい場合、「必須フィールド」チェック・ボックスを選択します。
有効なフィールド・エントリー値を制限したくない場合、「OK」をクリックして、ステップ 8 に進みます。
ユーザーが入力するのはリストの有効エントリー値だけに制限したい場合、「追加」をクリックして、ユーザー用の有効エントリー・リストを作成します。
6. 「値セット」ウィンドウにエントリーを入力して、Enter (キー) を押します。
追加するそれぞれのエントリーごとに「追加」をクリックし、エントリーを入力して、Enter (キー) を押します。追加したいエントリーをすべてリストしてから、「OK」をクリックします。
7. リストからエントリーを削除するには、削除するエントリーをクリックしてから「削除」をクリックします。エントリーを変更するには、そのエントリーをクリックしてから、「編集」をクリックします。新規エントリーを入力して Enter (キー) を押します。
8. 追加するそれぞれのユーザー・プロファイル・フィールドごとにステップ 1 ~ 6 を繰り返します。

ここで、ワークスペースを編集して、それぞれのグループにアプリケーションを追加することができます。

既存のワークスペースを開く

既存のワークスペースを開くには、以下のステップを実行します。

1. SDA を開始するには、「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」ウィンドウから「既存のワークスペースを開く」をクリックして、「OK」をクリックします。
「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」がオープンしていない場合、「ファイル」→「開く」をクリックします。
2. オープンしたいワークスペース・ファイル (.SSW) をブラウズします。
3. そのファイルをダブルクリックするか、あるいはファイルをクリックして、「開く」をクリックします。

既存の SDA イメージからワークスペースを取り込む

既存の SDA イメージからワークスペースを取り込むには、次のステップを実行します。

1. 「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」ウィンドウから、「既存のイメージからワークスペースを取り込む」をクリックし、「OK」をクリックします。
「IBM Software Delivery Assistant - アドミニストレータ」ウィンドウがオープンしていない場合、「ファイル」→「取り込み」をクリックします。
2. 取り込んだワークスペースから作成する、新規ワークスペースの (ファイル名ではなく) 名前を入力します。
3. SDA イメージが置かれた (SWSELECT.EXE ファイルと DATA サブディレクトリのある) ドライブとディレクトリを入力あるいはブラウズして、「OK」をクリックします。

言語をワークスペースに追加する

言語をアクティブ・ワークスペースに追加するには、以下のステップを実行します。

1. 「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側にあるワークスペース名をクリックします。
2. 「挿入」をクリックします。
3. 「言語」をクリックします。「言語の挿入」ウィンドウがオープンします。
4. ワークスペースに追加したい言語をそれぞれ選択して、「OK」をクリックします。
各言語には、共通グループとユーザー・プロファイル・フィールドが含まれます。

グループを言語に追加する

グループをアクティブ・ワークスペース内の言語に追加するには、次のステップを実行します。

1. 「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、グループを追加する先の言語をクリックします。

2. 「挿入」 → 「グループ」をクリックします。「グループの挿入」ウィンドウがオープンします。
3. 新規グループの名前を入力して、「OK」をクリックします。

サブグループをグループに追加する

サブグループをグループに追加するには、次のステップを実行します。

1. 「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、サブグループを追加する先のグループをクリックします。
2. 「挿入」 → 「サブグループ」をクリックします。「サブグループの挿入」ウィンドウがオープンします。
3. 新規グループの名前を入力して、「OK」をクリックします。

アプリケーションをグループまたはサブグループに追加する

アプリケーションをアクティブ・ワークスペース内のグループまたはサブグループに追加するには、次のステップを実行します。

1. 「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、適切な言語の中でアプリケーションを追加する先のグループをクリックします。
2. 「挿入」 → 「アプリケーション」をクリックします。「アプリケーションを挿入」ウィンドウがオープンします。
3. 「アプリケーションを挿入」ウィンドウで、各タブのそれぞれのアプリケーションについて必要な情報を指定します。
「アプリケーションを挿入」ウィンドウについて詳しくは、12 ページの『アプリケーション挿入プロパティ』 ページを参照してください。
4. それぞれのタブ上に必要な情報を指定して、「OK」をクリックします。

ユーザー・プロファイル・フィールドを追加する

ユーザー・プロファイル・フィールドを追加するには、次のステップを実行します。

1. 「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの左側で、ユーザー・プロファイルを追加する先の言語の下にある「プロファイル」をクリックします。「SDA-アドミニストレーター」ウィンドウの右側に、現在のユーザー・プロファイル・フィールドが表示されます。
2. 「挿入」 → 「プロファイル」をクリックします。「ユーザープロファイル」ウィンドウがオープンします。
「プロファイル」をクリックして「プロファイルフィールドを挿入」をクリックすることもできます。
3. 「フィールド名」フィールドに、追加したいユーザー・プロファイル・フィールドの名前を入力します。
4. 「サイズ」フィールドに、受け入れる最大文字数を入力します。入力が長すぎると、SDA によって切り捨てられます。
5. 有効となるフィールド・エントリー値を制限しない場合、「OK」をクリックして新規ユーザー・プロファイルを追加してから、ステップ 8 (31 ページ) に進みます。

有効となるフィールド・エントリー値を制限し、ユーザーがフィールドに必ず入力するようにしたい場合、「必須フィールド」チェック・ボックスを選択します。

- 有効エントリー値リストを作成するには、「追加」をクリックします。
- 「値セット」ウィンドウに値を入力して、Enter (キー) を押します。追加するそれぞれのエントリーについて ステップ 6 と 7 を繰り返します。
リストからエントリーを削除するには、削除するエントリーをクリックしてから「削除」をクリックします。エントリーを変更するには、そのエントリーをクリックしてから「編集」をクリックします。新規エントリーを入力して Enter (キー) を押します。
- エントリーをすべてリストしている場合、「OK」をクリックします。

グループ選択を自動化する

ユーザーがどのアプリケーション・セットをインストールするかを指示できるようにするには、少なくとも SDA イメージにグループのユーザー・プロファイル・フィールドが必要です。必要に応じて、SDA-インストーラーがユーザー・プロファイル・フィールドをう回し、ユーザーのグループを自動的に判別できるようにして、ユーザーが間違ったグループを選択しないようにできます。

これを実行するには、2 つの方法があります。32 ビットのプログラムまたはレジストリー・キーを作成することができます。

32 ビットのプログラムを作成する

- ユーザーのハード・ディスクに C:\\$SDAPROF.INI と呼ばれる 32 ビット・プログラム・ファイルを作成します。ファイルには、次のテキストが入っていなければなりません。

```
Group=groupname
```

ここで、*groupname* はユーザー・グループの名前です。

- SDA-インストーラープログラムを実行します。このプログラムは、GROUPCHK プログラムを実行し、レジストリー・キーとエントリーを作成します。

エントリーをレジストリー・キーに追加する

- GROUPCHK.EXE と呼ばれる 32 ビット・プログラムを作成します。このプログラムは、ユーザー・グループを判別し、レジストリー・キー (HKEY_CURRENT_USER ¥SOFTWARE¥IBM¥SS) およびレジストリー・キー内の以下のエントリーを作成する GROUPCHK.EXE と呼ばれる 32 ビット・プログラムを作成します。

```
Group "groupname"
```

ここで、*groupname* はユーザー・グループの名前です。

- ユーザーのハード・ディスク上で、SWSELECT.EXE ファイルと SDA イメージの DATA サブディレクトリーのあるルート・ディレクトリーに、プログラム・ファイルを入れます。
- SDA-インストーラープログラムを実行します。このプログラムは、GROUPCHK プログラムを実行し、レジストリー・キーとエントリーを作成します。

プレビュー SDA イメージを作成する

アクティブ・ワークスペースのプレビュー SDA イメージを作成するには、次のステップを実行します。

1. 「イメージ」 → 「プレビュー」をクリックします。
2. 「言語」メニューからプレビューしたい言語をクリックします。
3. 「オペレーティングシステム」メニューから、プレビューしたいオペレーティング・システムをクリックしてから、「OK」をクリックします。

「SDA-アドミニストレーター」によって、プレビュー SDA イメージがビルドされ、SDA-インストーラーが開始します。

4. 「SDA-インストーラー」内で、ユーザー・プロファイル・フィールドを入力し、「OK」をクリックします。

SDA-インストーラーによって、共通グループおよび選択済みユーザー・プロファイル内のグループの中でアプリケーションのインストールがシミュレートされます。

既存 SDA イメージから新規 SDA イメージを作成する

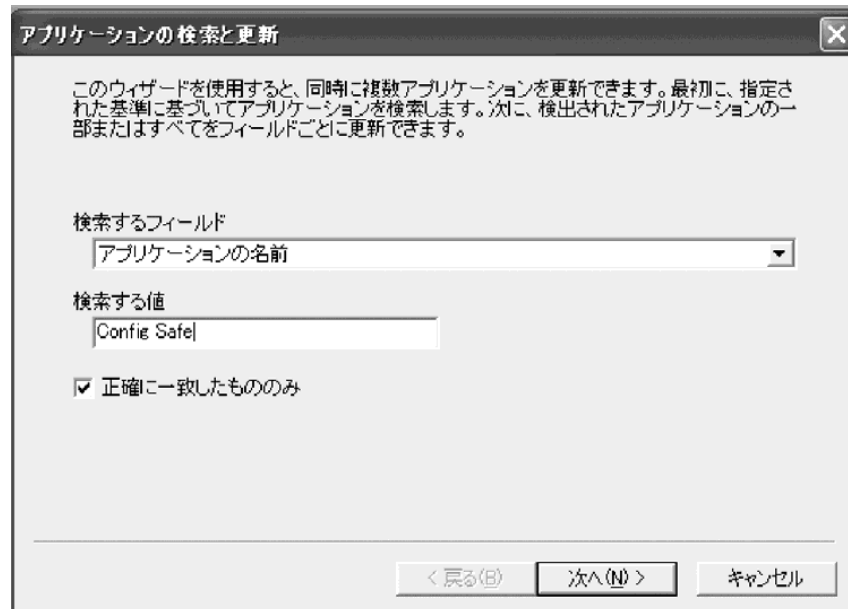
既存の SDA イメージから新規 SDA イメージを作成するには、次のステップを実行します。

1. 「ファイル」 → 「取り込み」をクリックして、既存の SDA イメージからワークスペースを取り込みます。
2. 新規 SDA イメージの名前を「新規ワークスペースの名前」フィールドに入力します。
3. ドライブとディレクトリーを「イメージの場所」フィールドに入力します。「参照」ボタンをクリックして、手動でディレクトリーをナビゲートすることもできます。
4. 「OK」をクリックします。

複数アプリケーションを更新する

複数のアプリケーションを更新するには、次のステップを実行します。

1. 「編集」 → 「検索と更新」をクリックします。「アプリケーションの検索と更新」ウィンドウがオープンします。



2. 探索用のフィールド・タイプをクリックします。
選択する検索フィールドによって、エンジンが検索する値が決まります。一部の検索フィールドに、「正確に一致したもののみ」チェック・ボックスを選択することによって、厳密な検索を実行することができます。
3. 探索対象のテキストを「検索する値」フィールドに入力します。
4. 「次へ」ボタンをクリックします。
「アプリケーションの検索と更新」ウィンドウの「検索結果」ウィンドウ内に検索結果が表示されます。
5. 更新対象となる検索結果をクリックします。
6. 「更新されるフィールド」メニューから、更新しようとするタイプを選択します。
7. 「新規値」フィールドに入力するか、更新情報をクリックします。「更新されるフィールド」メニューで何を選択するかによってエントリーが決まります。
8. 「選択の更新」ボタンをクリックして、選択したアプリケーションのみを更新するか、あるいは「すべての結果の更新」ボタンをクリックして、結果リスト内のアプリケーションをすべて更新します。
9. 「完了」をクリックして、更新を完了します。

SDA-インストーラーのオプション・インストール部分を使用不可にする

SDA-インストーラーのオプション・インストール部分を使用不可にするために、ユーザーのハード・ディスクから SDA-インストーラー・イメージを削除するには、次のステップ実行します。

1. 「イメージ」 → 「プロパティ」をクリックします。

- 「イメージプロパティ」ウィンドウがオープンします。
2. 「イメージ」タブをクリックします。
 3. 「SDA イメージを削除する」をクリックしてから、「OK」をクリックします。

SDA イメージ管理について詳しくは、20 ページの『「イメージプロパティ」』を参照してください。

翻訳用のテキストの取り出し

アクティブ・ワークスペースからテキストを取り出すには、次のステップを実行します。

1. 「翻訳」 → 「送る」をクリックします。
「送る」ウィンドウがオープンします。
 2. ファイルを保管するドライブとディレクトリーを入力してから、「OK」を入力します。「参照」ボタンをクリックして、この場所をナビゲートすることもできます。
- 情報パネルに、テキストを取り出した結果が表示されます。

翻訳済みテキストを組み込む

翻訳済みテキストをアクティブ・ワークスペースに組み込むには、次のステップを実行します。

1. 「翻訳」 → 「受け取る」をクリックします。
「受け取る」ウィンドウがオープンします。
 2. ファイルを保管するドライブとディレクトリーを入力してから、「OK」を入力します。「参照」ボタンをクリックして、この場所をナビゲートすることもできます。
- 情報パネルに、テキストを取り出した結果が表示されます。

付録. 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品、プログラムまたはサービスの操作性の評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書は定期的に見直され、必要な変更 (たとえば、技術的に不適切な表現や誤植など) は、本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

商標

IBM は、IBM Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

「アイコンの変更」ボタン
「一般」タブ 12
「アプリケーション」
「挿入」メニュー 12
アプリケーション追加プロパティ、「アプリケーションを挿入」ウィンドウ 12
「アプリケーションの名前」フィールド
「一般」タブ 13
「アプリケーションを挿入」ウィンドウ
「一般」タブ 12
「インストール」タブ 16
「ソース」タブ 14
「プロパティ」タブ 13
アプリケーション・セット 11
暗号化、定義済み 17
「一般」タブ
「アイコンの変更」ボタン 12
「アプリケーションの名前」フィールド 13
「アプリケーションを挿入」ウィンドウ 12
「オペレーティングシステム」フィールド 13
「言語」と「グループ」フィールド 13
「イメージ」タブ
「イメージプロパティ」ウィンドウ 20
「イメージ」メニュー
「イメージプロパティ」ウィンドウ 20
「ビルド」ウィンドウ 18
「プレビュー」ウィンドウ 18
レポート・ウィンドウの生成 18
「イメージプロパティ」ウィンドウ
「SDA-インストーラー設定」タブ 22
「イメージプロパティ」ウィンドウ
「イメージ」タブ 20
「イメージ」メニュー 20
「更新」タブ 21
イメージ・メニュー・オプション 18
インストール 1

「インストール (セットアップ) ファイルの暗号化」チェック・ボックス
「ソース」タブ 17
「インストール」タブ
「アプリケーションを挿入」ウィンドウ 16
「インストール順序」フィールド 16
「インストールタイプ」フィールド 16
「コンピュータの再起動が必要」チェック・ボックス 16
「インストール後のコマンド」、定義済み 15
「インストール後のコマンド」フィールド
「ソース」タブ 15
「インストール順序」フィールド
「インストール」タブ 16
「インストールタイプ」 16
「オプション」 16
「推奨」 16
「必須」 16
「インストールタイプ」フィールド
「インストール」タブ 16
「インストールファイルの場所」フィールド
「ソース」タブ 14
「インストール前のコマンド」、定義済み 15
「インストール前のコマンド」フィールド
「ソース」タブ 15
インストール・ファイルの暗号化 24
インストール・ファイルをインストールしません 18
「受け取る」ウィンドウ
「翻訳」メニュー 25
「ウィンドウ」メニュー・オプション 25
「上下に並べて表示」 25
「重ねて表示」 25
「上下に並べて表示」
「ウィンドウ」メニュー・オプション 25
「送る」ウィンドウ
「翻訳」メニュー 25
「オプション」
「インストールタイプ」 16
「オペレーティングシステム」
「表示」メニュー 10
「オペレーティングシステム」フィールド
「一般」タブ 13

[カ行]

「拡張」タブ 24, 25
「重ねて表示」
「ウィンドウ」メニュー・オプション 25
「カスタムインストール」チェック・ボックス 23
「カスタムインストールのコマンド」フィールド
「ソース」タブ 15
カスタム・インストール、定義済み 15
カスタム・インストール・オプション
「SDA-インストーラー設定」 23, 24
既存の SDA イメージからワークスペースを取り込む 29
既存のワークスペースを開く 29
既存ワークスペース 6
共通グループ 6
共通グループのインストール 17
「切り取り」
ツールバー・ボタン 7
「編集」メニュー 8
組み込み、翻訳済みテキスト 34
グループ、定義済み 6
「グループ」
「挿入」メニュー 10
グループの指定 6
グループ名、変換 25
グループを言語に追加する 29
グループ・サポート、イメージ単位の 6
「言語」
「挿入」メニュー 10
「言語」と「グループ」フィールド
「一般」タブ 13
言語の選択 6
言語をワークスペースに追加する 29
「検索と更新」
「編集」メニュー 8
更新、複数アプリケーションの 32
「更新」タブ
「イメージプロパティ」ウィンドウ 21
更新済みアプリケーション・バージョン 21
「コピー」
ツールバー・ボタン 7
「編集」メニュー 8
「コンピューター再起動が必要」チェック・ボックス
「インストール」タブ 16

[サ行]

「サイレントインストールのコマンド」フィールド
「ソース」タブ 15
サイレント・インストール、定義済み 15
「削除」
「編集」メニュー 8
作成、新規ワークスペースの 27
作成、32 ビット・プログラム
自動グループ選択 31
作成する、既存 SDA イメージから新規 SDA イメージを 32
作成する、プレビュー SDA イメージ 32
「サブグループ」
「挿入」メニュー 11
サブグループをグループに追加する 30
「次回からこのウィンドウを表示しない」
チェック・ボックス 5
システム要件 1
指定、グループの 28
指定、ユーザー・プロファイル・フィールドの 28
自動グループ選択
作成、32 ビット・プログラム 31
追加する、エントリーをレジストリー・キーに 31
使用不可にする、SDA-インストーラーのオプション・インストール部分を 33
「情報パネル」
ツールバー・ボタン 7
「表示」メニュー 10
「新規」
「ファイル」メニュー 8
「新規作成」
ツールバー・ボタン 7
「推奨」 16
「スタートアップ」フォルダーのショートカット作成 26
「ステータスバー」
「表示」メニュー 10
「設定変更」
「SDA-インストーラー設定」 23
「選択されたオブジェクト」
「編集」メニュー 8
「ソース」タブ 24
「アプリケーションを挿入」ウィンドウ 14
「インストール (セットアップ) ファイルの暗号化」チェック・ボックス 17
「インストール後のコマンド」フィールド 15
「インストールファイルの場所」フィールド 14

「ソース」タブ (続き)
「インストール前のコマンド」フィールド 15
「カスタムインストールのコマンド」フィールド 15
「サイレントインストールのコマンド」フィールド 15
「挿入」
メニュー・オプション 10
「挿入」メニュー
「アプリケーション」 12
「グループ」 10
「言語」 10
「サブグループ」 11
「プロファイル」フィールド 12

[タ行]

「ツールバー」
「表示」メニュー 10
ツールバー・ボタン
「切り取り」 7
「コピー」 7
「情報パネル」 7
「新規」 7
「貼り付け」 7
「開く」 7
「ヘルプ」 7
「保存」 7
追加する、アプリケーションをグループまたはサブグループに 30
追加する、エントリーをレジストリー・キーに 31
追加する、ユーザー・プロファイル・フィールドを 30
デフォルト項目、レポート 19
「取り込み」
「ファイル」メニュー 8
取り出し、翻訳用のテキストの 34

[ハ行]

「バージョン」フィールド
「プロパティ」タブ 13
「貼り付け」
ツールバー・ボタン 7
「編集」メニュー 8
ビジネス・グループ・アプリケーションのインストール 17
「必須」
「インストールタイプ」 16
「必要なディスクスペース (MB)」フィールド
「プロパティ」タブ 14

「表示」メニュー
「オペレーティングシステム」 10
「情報パネル」 10
「ステータスバー」 10
「ツールバー」 10
メニュー・オプション 10
「開く」
ツールバー・ボタン 7
「ファイル」メニュー 8
「ビルド」ウィンドウ
「イメージ」メニュー 18
「ファイル」メニュー
「新規」 8
「取り込み」 8
「開く」 8
メニュー・オプション 8
「吹き出しテキスト」フィールド
「プロパティ」タブ 14
「吹き出しテキストの表示」
「SDA-インストーラー設定」 23
「プレビュー」ウィンドウ
「イメージ」メニュー 18
「プロパティ」タブ
「アプリケーションを挿入」ウィンドウ 13
「バージョン」フィールド 13
「必要なディスクスペース (MB)」フィールド 14
「吹き出しテキスト」フィールド 14
「Windows 「アプリケーションの追加と削除」のアプリケーション名」フィールド 14
「Windows 「アプリケーションの追加と削除」のアプリケーション名」フィールド 14
「プロファイル」フィールド
「挿入」メニュー 12
「ヘッダーグラフィック」フィールド 25
「ヘルプ」
ツールバー・ボタン 7
「編集」メニュー
「切り取り」 8
「検索と更新」 8
「コピー」 8
「削除」 8
「選択されたオブジェクト」 8
「貼り付け」 8
メニュー・オプション 8
「保存」
ツールバー・ボタン 7
「翻訳」メニュー
「受け取る」ウィンドウ 25
「送る」ウィンドウ 25

[マ行]

メニュー・オプション
「挿入」 10
「表示」メニュー 10
「ファイル」メニュー 8
「編集」メニュー 8

[ヤ行]

ユーザー・プロファイル・フィールドの指
定 6
ユーザー・プロファイル・フィールド名、
変換 25

[ラ行]

レポート項目、「レポートの作成」ウィ
ンドウ 19
レポートのカスタマイズ 19
レポート・ウィンドウの生成
「イメージ」メニュー 18

[ワ行]

ワークスペース 4
ワークスペース情報、既存 SDA イメージ
の 6
ワークスペース名 6
ワークスペース・インターフェース 5
ワークスペース・ファイルの保管 6

I

「IBM Software Delivery Assistant - アド
ミニストレーター」ウィンドウ 5

R

RunOnce レジストリー・キー・エントリ
ー、Windows 2000 26
RunOnce レジストリー・キー・エントリ
ー、Windows 95、98、NT 4.0、および
Millennium 26
RunOnce レジストリー・キー・エントリ
ー、Windows XP 26
RunOnce レジストリー・キー・エントリ
ー作成 26

S

SDA イメージ・プレビュー 18
SDA-アドミニストレーター 3
SDA-インストーラー 3

SDA-インストーラー、開始 25
「SDA-インストーラー設定」
カスタム・インストール・オプション
23, 24
「設定変更」 23
「吹き出しテキストの表示」 23
「SDA-インストーラー設定」タブ
「イメージプロパティ」ウィンドウ
22
SDA-インストーラーの開始、ユーザーに
よる 26
Software Delivery Assistant
アンインストール 2
インストール 1
システム要件 1

W

Windows NT Zero Administration Kit
(ZAK) 27
Windows NT コンピューターを使用して
SDA-インストーラーを実行する 26
「Windows 「アプリケーションの追加と削
除」のアプリケーション名」フィールド
「プロパティ」タブ 14



部品番号: 36P3248

Printed in Japan

(1P) P/N: 36P3248



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12